

農繁期 レポート

令和5年 7月号

バードライフファーム

オーナー
産地
水田面積
保証量
形態品種

バードライフ
鳥取県日野郡日南町
25.0アール
玄米1125kg
特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所（旧：米風土鳥取）

7月に入り気温が上がり、例年より暑い中での草刈りとなっていますが、より良い田んぼの状態を維持するために頑張っています。イノシシも元気で困っていますが…まもなくイネの花が咲くと思うと楽しみが増してくる今日この頃です。今年もいい稲ができそうです！やはり暑い気候が最高に稲作には適していますね。

7月の作業内容

1. 草刈り

今年は梅雨にしっかり雨が降り、雑草の伸び方が早く、何度も草刈りをするようになりました。そして、草も刈りすぎてしまうとイネ科雑草がさらに繁殖してしまうので、10cmくらい残して刈ることが理想です。

2. 無効分げつ抑制

稲株も繁殖しすぎると生育や収量に悪影響があります。お米の実る稲穂をしっかりと確保した後は、「無効分げつ（穂がならない分げつ）」を抑えるために間断かん水で8月の出穂（しゅっすい）までの水管理を行います。

3. カメムシ対策

カメムシがたくさん発生すると、米粒に斑点をもたらしたり、その結果食味が落ちたりします。農薬で防除することもあります。畔草をしっかりと刈る（耕種防除法のひとつ）ことも立派な虫害対策となります。

4. 電気柵の設置

獣害は年々深刻になってきています。猪が田んぼに入ると稲に獣臭が付いてしまうので、侵入を防ぐべく早めに電気柵を設置します。写真の柵は低いですが、鹿の出る地域での柵は2m近くにもなります。

